

平成23年度（第3回）

中央シンポジウム

—職場のリスク管理と作業環境測定—

- 主催 社団法人日本作業環境測定協会
(本部及び東北支部)
- 後援 厚生労働省 宮城労働局
仙台市、中央労働災害防止協会
建設業労働災害防止協会ほかの
業種別災害防止協会
- 協賛 一般社団法人日本鉄鋼連盟
一般社団法人日本化学工業協会

○社団法人日本作業環境測定協会（以下、日測協）では、事業主及び関係者の皆様に作業環境管理に関する認識を深めていただくため、平成21年度から、「作業環境測定・評価推進運動月間」の広報行事として、「中央シンポジウム」を実施してまいりました。

○過去2回は、いずれも東京都で実施しましたが、第3回の本年は、宮城労働局、仙台市ほかのご後援をいただき、12月12日に仙台市で開催いたします。

皆様には、奮ってご参加をお願いいたします。

■開催日時 平成23年12月12日(月) 10:30~16:30

■参加費 無料

■会場 仙台ガーデンパレス・鳳凰の間

仙台市宮城野区榴岡4-1-5 (TEL 022-299-6211)



仙台駅西口より車で約5分
仙台駅東口より徒歩約3分

【プログラム】

10:30	■開 会
10:30～10:35	■主催者あいさつ（日測協副会長 高田 昴）
10:35～10:40	■行政あいさつ（宮城労働局長 落合 淳一様）
10:45～12:00	<p>■特別講演</p> <p>化学物質のリスク管理をどう進めるか—その考え方と手順—（仮題）</p> <p>講師：櫻井 治彦氏（財産業医学振興財団理事長 中央労働災害防止協会技術顧問 慶應義塾大学名誉教授）</p> <p>職場で使用される化学物質は多岐にわたり、また、毎年1,000種を超える新たな化学物質が産業現場に導入されています。</p> <p>このうち、労働者の健康障害を防止する観点から法令により規制されている物質はわずかであり、その他の多くについては、国の規制を待つのではなく、それらを労働者に取り扱わせる各事業者において、有害性情報を収集し、また自らの事業場における作業実態を分析して労働者の健康障害を未然に防ぐための必要な措置を行うことが求められます。</p> <p>この特別講演は、事業者がどのようにこの問題にアプローチすべきかを含め、化学物質のリスク管理の理論と実際の全般について、この道の第一人者に包括的かつわかりやすく論じていただくものです。</p>
12:00～13:00	休 憩（昼食は仙台ガーデンパレス内レストランまたは周辺の飲食店等でおとりください。なお、会場内は飲食禁止、禁煙とさせていただきますので、ご協力お願い申し上げます。）
13:00～13:50	<p>■技術講演 1</p> <p>これからの労働衛生管理—どこに着眼すべきか—（仮題）</p> <p>講師：土肥 誠太郎氏（三井化学㈱ 統括産業医）</p> <p>総合化学企業の統括産業医として、現場の作業をつぶさに見てこられ、また専門の医学に加えて化学物質や職場のリスク管理全般にもご造詣の深い講師から、厳しい経営環境にある企業が、効果的・合理的に労働者の安全を確保し、働きがいのある職場を提供していくために今どのようなことが重要であり、今後を見越してどのように対処していくべきか—等についてお話をいただきます。</p>
13:50～14:40	<p>■技術講演 2</p> <p>リスク管理の実際—職場の多様な問題に どのようにアプローチするか—（仮題）</p> <p>講師：小野 道實氏（三菱電機㈱人事部 安全衛生コンサルタント）</p> <p>総合電機・電子機器製造企業で一貫して安全衛生を担当してこられ、現在は、安全衛生コンサルタントの立場で、さまざまな企業を指導しておられる講師から、職場におけるさまざまな労働衛生上の問題への処方箋について、ご経験を踏まえてお話いただきます。</p>

14:40～15:00	休 憩
15:00～16:30	<p>■パネルディスカッション</p> <p>職場のリスク管理と作業環境 —作業環境測定士制度の意味を今問い直す— (仮題)</p> <p>司 会：塩崎 保美氏 (日測協副会長 住友化学㈱常務執行役員) パネリスト：小野 道實氏 (三菱電機㈱) 河合 直樹氏 (日測協東北支部副支部長、河合環境コンサル タント事務所所長) 土肥誠太郎氏 (三井化学㈱ 統括産業医) 戸田 進氏 (中央労働災害防止協会 東北安全衛生サービス センター所長) 能坂 正徳氏 (宮城労働局労働基準部長)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>近年、我が国の安全衛生は、事業場に対し、法令のコンプライアンスとともに、法令の規定の有無にかかわらず、自らがリスクを判断し自ら適切に対応する「自律的管理」を求めています。</p> <p>自律的管理の基本は、リスク評価とリスク管理ですが、多くの事業場では、これらのために十分な安全衛生スタッフを配置できないのが現実です。</p> <p>本パネルディスカッションでは、このような状況を踏まえ、各事業場が現実にもどどのように自律的管理を実践しようとしているか、また効果的な取り組みのためのポイントは何か、行政は現状をどのようにとらえ、今後どのような方向性に導こうとしているのか——などについてパネリストに論じていただきます。</p> <p>さらに、労働衛生管理のなかの最も基本的なアプローチである「作業環境管理」の主要なツールである「作業環境測定」と、専門家としての「作業環境測定士」が「自律的管理の実践」に関わって果たすべき役割について改めて問い直し、そのさらなる有効活用について論じていただきます。</p> </div>
16:30	閉会挨拶 (日測協東北支部長 JR仙台病院・院長 市来 正隆)
16:35	閉 会

